



地域の未来を創るマリン・イノベーターの育成 ～IT導入による持続可能な地域社会の創造～

事業の目的

水産分野の産業構造が変化し、仕事の内容の革新が求められる中、カキやアサリ、コンブといった水産業を基幹産業とする厚岸町において、IT技術を活用したスマート水産業の実践を通して、地域の資源管理型漁業の推進に寄与するとともに、デジタル人材の育成をはじめとした地域産業の持続的な成長を牽引する最先端の職業人を育成する。

実施体制

産業界

- ・厚岸漁業協同組合
- ・道の駅コンキリ工
- ・地元漁師



- ・地域活性化事業
- ・交流授業
- ・商品開発
- ・出前授業

地域

- ・厚岸町
- ・厚岸観光協会
- ・厚岸町商工会
- ・小中学校

マイスター・ハイスクールビジョンの実現

あつけし
厚岸翔洋高校



うみえもん
厚岸町公式
キャラクター

- ・実習指導
- ・出前授業
- ・スマート水産業に関する共同研究
- ・インターンシップなど

研究機関

- ・はこだて未来大学
- ・北海道大学
- ・釧路水産試験場

- ・実習指導
- ・研究指導
- ・データ分析など

- ・運営委員会の運営
- ・文科省との連絡や調整
- ・取組全般に関する学校の支援

行政

- ・北海道
- ・北海道教育委員会

運営委員会

- ・高校段階で育成すべき人材像の検討
- ・人材育成のための実施計画の策定（マイスター・ハイスクールビジョン）
- ・マイスター・ハイスクールCEOの選任
- ・産業実務家教員の選任
- ・実施計画の検証・改善、進捗管理

事業推進委員会

- ・マイスター・ハイスクールビジョンに基づき教育課程の検討
- ・教育課程の編成・実施
- ・指導計画の作成
- ・単元配列表の作成・改善
- ・各事業の計画・実践・まとめ 検証・評価・改善

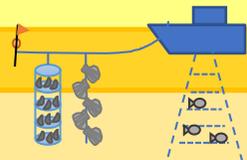
検証・評価
指導・助言

課題まとめ
進捗・報告

事業概要

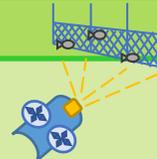
①水産資源の持続化に向けた取組

- 沿岸漁業における漁獲データをデジタル化
- 魚群探知機の技術習得と資源管理型漁業の推進
- カキやアサリなどの養殖施設にスマートブイを設置して海洋環境を把握



②漁家経営の持続化に向けた取組

- 沿岸漁業者と各種データを共有して資源管理を推進
- 実習の様子をカメラで撮影して作業効率化と安全体制の構築
- ドローンやAIを用いて赤潮など漁場環境の変化に対応



③地域経済の持続化に向けた取組

- 地元水産物の料理レシピの開発とネット販売による魅力発信
- 未使用資源の有効利用と商品のブランド化
- 食と観光をミックスした観光パッケージツアーの開発



期待できる成果



★未来に翔く人材の育成

- ・スマート水産業を牽引したり、地域資源の商品化・ブランド化を推進したりするなど、漁業・食・観光の分野で地域創生の担い手として活躍する人材を輩出

★持続可能な開発目標（SDGs）の実現

- ・目標の「14海の豊かさを守ろう」をはじめ、食料問題や産業振興などに関わる目標の実現に資する取組を推進



★脱炭素（カーボンニュートラル）への貢献

- ・ITを活用した効率的な漁業によって、船舶などの排出するCO₂が削減

★水産・海洋高校のモデル校として研究成果を全国に普及

- ・スマート水産業に取り組む高校が増え、各地域の水産業の振興に寄与